

会 議 録

1 会議名

令和7年度第1回牧区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○報告事項（公開）

- ・令和7年度牧区の主な事業について

○自主的審議事項（公開）

- ・あらゆる人が安全・安心に住み続けたい「牧づくり」について

3 開催日時

令和7年4月15日（火）午後7時00分から午後8時32分まで

4 開催場所

牧区総合事務所 3階301会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名

- ・ 委 員：西山会長、清水副会長、飯田委員、池田委員、井上委員、河野委員、
梨本委員、西條委員、羽深委員、宮内委員、横尾委員
- ・ 事 務 局：牧区総合事務所 小林所長、岩崎次長、清水市民生活・福祉G長兼教育・
文化G長、小暮地域振興班長、霜越地域振興班主事

8 発言の内容（要旨）

【岩崎次長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認し、会議の成立を報告

【西山会長】

- ・ 挨拶

【小林所長】

・挨拶

【西山会長】

・会議録署名委員として横尾委員を指名

報告事項について、事務局から説明をお願いします。

【小暮班長】

・資料 No. 1 に基づき、報告事項「令和 7 年度牧区の主な事業について」を説明

【西山会長】

今ほどの説明で、質問等があればお願いします。

【清水副会長】

今年は大雪で除雪が大変だったと思うが、道路に穴が開いているところが複数見受けられるので、できるだけ早く改善するようにお願いしたい。

【小林所長】

場所が分かれば教えていただき、対応していく。国道や県道であれば県に伝え、市道であれば市で対応する。

【西山会長】

他に質問等はないか。

【梨本委員】

資料中の新規事業で、牧中学校特別教室のエアコン設置が約 2, 5 0 0 万円、牧体育館の大規模改修工事設計委託が約 7 0 0 万円とあるが、この内容はどんなものか。

【小林所長】

牧中学校の特別教室にエアコンを設置するもの。牧中学校は統合に向けた取組が進められているが、教育委員会では、統合後、牧中学校で使わなくなった後も、別のところへ移設して使用する考えとしている。

牧体育館の大規模改修については、体育館の外壁や照明器具の LED 化など、施設の長寿命化に向けた改修に要する費用を把握するため、設計業務を行うものである。

【梨本委員】

牧中学校は、統合後の活用方法は決まっているのか。

【小林所長】

今後、地域協議会で議論をしていただきたいと思っている。

【飯田委員】

「牧診療所の運営」について伺いたい。従来は医師が常駐していたが、今は外部から来ていただいている。市は、牧診療所の常駐医師が来るように働き掛けを行っているのか、それとも今のような外部の医師が当番で来ることで対応が決まってしまったのか、どちらか。

【小林所長】

担当課は地域医療推進課になるが、医師については今おっしゃったように外部の方から来ていただいて診療体制を整えているのが現状であり、常駐には至っていない。診療所としては、もう少し利用者がいてほしいとの声を聞いているので、皆さんからも牧診療所を利用していただきたい。

【井上委員】

地域独自の予算事業で継続になっている『『牧っていいね』を広げる情報発信事業』の概要を教えてほしい。

【小暮班長】

牧振興会が事業主体となり、写真投稿アプリのInstagramなどを使って牧区の情報発信に取り組んでいるもの。地域の若手の皆さん8名ほどがインスタチームとして活動しており、最低月1回以上は各メンバーが発信しようとしている。アカウント名は@n i c e _ m a k i n s h o（ナイス・マキンショ）である。牧区のイベントのほか、先日の大雪の際は、除雪業者の皆さんが重機で除雪をされている様子なども含めて、牧区の人々の暮らしや地域の魅力を発信している。現在はフォロワーが500人を超えており、日々、牧区の情報に触れている方がそれだけいらっしゃるという状況である。

【梨本委員】

2月23日に日本テレビ系の旅番組が、メープルシロップの取材に来た。新潟県では放送されていないが、広く発信していただいたおかげで、遠くは広島などからも連絡をいただいた。しかし、牧振興会のそのインスタチームは一度も取材に来たことはないのもっと幅広く情報を取り上げて、盛り上げていただきたい。

【小暮班長】

梨本委員が取り組んでいらっしゃるイタヤカエデやメープルシロップも牧区の大きな資源であると思うので、事業主体やインスタチームにご意見をお伝えする。

【清水副会長】

私は、牧振興会の地域協議会選出理事を務めているので、明日の理事会で話をさせていただく。

【西山会長】

J C Vや上越タイムスにも牧区のことを取り上げられた例がある。それらのメディアに対しても働きかけができれば、牧区の情報がまた広く発信されるのではないかなと思う。

【梨本委員】

私の住む小川集落はJ C Vの放送区域ではない。小川地区でJ C Vを観ることができるようにするにはいくらかかるか聞いたことがあるが、大体150万円と言われた。牧中学校のエアコンで約2,500万円をかけるというのも大事なことはあるが、もっと他のことにも予算をつけてほしいと思う。

【岩崎次長】

J C Vは、営業ベースで視聴可能範囲を判断されている部分もあるのかなと思うので、逆に地域の皆さんから加入希望のお話があれば、J C Vからも考えていただけるのではないかなと思う。

【西山会長】

J C Vを受信したい意思表示の調査があった際に、ここの集落ではこれだけたくさんの方が入れますよ、というような回答をしてもらえれば良いのではないかなと思う。

他に質問等はないか。

(質問等なし)

他に質問等がないようなので、以上で報告事項を終了する。

続いて、自主的審議事項について、事務局から説明をお願いします。

【小暮班長】

- ・資料 No. 2に基づき、自主的審議事項「あらゆる人が安全・安心に住み続けたい『牧づくり』について」を説明

【西山会長】

今ほどの説明のとおり、当日出席いただいた皆さんから順番に、感想や意見などを発言していただきたい。まず農業・林業グループで私から始めて、横尾委員まで、それから若者女性・体験移住グループで、池田委員から宮内委員までお願いする。河野委員は当日欠席だったので、皆さんの発言を聞いた上で、意見があれば発言していただきたい。

それではまず私から、農業・林業グループの参加者を見て、私が知っている人がほとんどだった。つまり、私と同様に高齢化している人が、まだ農業に関わられているのだと思った。前向きな希望が湧くような意見はなかなか出ず、これから若い人がいかに希望をもって農業に関われる方向性や体制を見出していかないと上手くいかないと思う。

【清水副会長】

集まった皆さんは、農業を精一杯頑張っている人たちだった。場所が良い田んぼは残し、悪いところは無理してやらずに手放すというところが皆さんの共通認識だった。しかし、自分の代までは頑張るけれども、それ以降はやらないということになれば、牧区の農業が崩壊していくことになる。そこで、若い人たちが農業に入ってこられるような下支えができる体制づくりが特に求められている。若い力と外部の人材も含めて対応していく必要がある状況になってきている。その辺りを、地域協議会で積極的に対応してまとめていきたい。冒頭の所長の挨拶では、今後、地域協議会で地域ビジョンを作るといようなお話があったが、その中でもうまくまとめていかなければならないと考えている。また、手放す農地をどうしようかという課題があるので、例えばそこに植林をしていくなどの幅広い対応が必要だと思う。

【飯田委員】

ふだんの仕事も農業に携わっている。個人的な意見も強いが、現状では農業だけで家族を養うには少し無理があるのではと感じる。かといって補助事業を活用するには、一定程度の面積を確保する必要があるので、個人では取り入れづらい。

5年前、10年前と比べると、その分年を取っているが、農業に携わっている方は、私を含め、何とかしなくてはいけないと思っている。農地が荒れるということは、集落が無くなってしまうということにもなるが、5年前、10年前と違って、皆さんはいよいよ切羽詰まっているような雰囲気があり、ここで何とかしなければと考えているのは、まだ明るい兆しなのかなと思う。

【梨本委員】

今回の参加者に林業に関わる人はいなかったが、林業の観点から言えば、1.4メートル以上の積雪があるところでは、スギの生育は困難であるという学説が少し前から出ている。昔は国策でスギを植えたが、牧では生育に向いておらず、自然を生かして収入が得られるイタヤカエデに目をつけている。イタヤカエデを植樹して樹液が採れるようになるまで約30年かかるが、それからは毎年樹液が採れ、1万本のイタヤカエデがあれば毎年3億円の収入が生まれる。そんな夢を持っている。

【横尾委員】

意見交換会に参加して印象に残ったのは、農業者の皆さんは、今まで自分たちが頑張って築いてきたものを、どうやって後継者に譲っていくのか、牧区の農業をどうやって保持していくのかということを考えているということ。また一番重要に思ったのは、農業経営は発想の転換が大事、という意見。日本は高齢化でどこも困っているが、若い人に全て任せるような頼み方ではなく、やる気が出るような頼み方をするなど、手法を替えれば人手を確保でき、そして自分の農業を構築していけるということを提示する方がいた。実際にやっておられるから、自信を持って発言されるのだと思った。

【西山会長】

次に、若者女性・体験移住グループの池田委員から願います。

【池田委員】

いろいろな話があったが、皆さんから「自分たちの活動をPRしたい」という話が出ていた。牧振興会はホームページもSNSもやっておられるので、各々で発信していくだけではなく、連携して取り組んでいければ、もっと発信力が高まるという意見が出たし、自らもそのような発言をした。

【井上委員】

参加した団体のいろいろな思いやこれからの考えを聞くことができてよかった。高齢化や資金繰りの問題なども多く出ていたし、今までよりも盛んな活動ができない中でも、3つの団体がその場に集うことで、お互いの団体の在り方を紹介し合い、連携したり情報発信したりすることが大事という話が出た。

第1回目としてはとても有意義な会だったと思うが、事務局のまとめにあるように、確かに腹を割った話し合いが必要だと思う。ただ、そこで何をどういう風に話し合えば

いいのかということを整理することも大事だと感じた。

【羽深委員】

牧区ふるさと観光振興会、越後田舎体験牧・清里・板倉協議会牧支部の方々は、高齢化が進み、新しい取組が難しいという意見があった。まきにいるは令和6年度から活動がスタートしたとおっしゃっていた。いろいろな年代の人が集まって、アイデアやヒントが出されるので、そういう場を大切にしていけることが必要だと感じた。

いろいろな団体をつなぐコーディネーターが大切だという話もあったが、そのコーディネーターの人にも負担が行き過ぎないように、下支えする組織の必要性を改めて感じた。牧区の今後について、気軽に話し合える場を増やしていきたいし、若い人の意見をどんどん取り上げていきたいと思った。

【西條委員】

牧区に住んでいる皆さんは、牧区の魅力や「牧っていいね」ということを分かっているが、外に発信する力がどうしても弱いと思うので、これをクリアできれば、また違ってくると思う。日本という広い中では、牧区を知らない方がまだまだたくさんいる。その人たちが、1回は牧区を訪れて、その良さに気づく人も私はいると思う。情報発信をしていったら、そういうものが開けていくのではないかと感じた。

【宮内委員】

牧区ふるさと観光振興会と越後田舎体験は、高齢化で今までやっていた事業が出来なくなってきたという現実を聞いた。まきにいるは若い世代なので、今後の展開についてアイデアを持っているようなので楽しみに感じているが、若者だけでは実現できないような提案も、年代の高い団体と連携して、それぞれが得意とする分野を担えば、次への展開できるのではないかなと思う。

牧区の人口は少なくなったが、若い人がいないわけではないので、どうしたら若い人にも参加してもらえるのかを考えていきたい。その人たちが加わっていければ、さらに盛り上がるのではないかなと思う。

【西山会長】

皆さんの発表を聞いて、河野委員から意見があれば発言をお願いしたい。

【河野委員】

資料や皆さんの発表には、集える場所という言葉が出てきた。そこで、宣伝するわけ

ではないが、例えば私の店の2階はある程度広くて雨の心配もないので、市内と市外の人とをつなげる場のひとつになってくれれば良いといつも思っている。

昨年、牧区以外の方がイベントを企画して、10店舗くらいでマルシェのようなことをそこで行ったことがある。また今後のこととして、例えば牧区の皆さんの家にある昔の茶碗やお皿、要らないが片づけられなくてどうしようと思っているものを持ち寄って販売するイベントを企画して、それで牧区に来た人が「牧って面白いね」と思ってもらえたら良いと考えている。ただ、それをどのようにお知らせするか。いつもはInstagramで発信しているが、Instagramをやっていないければ分からないので、他に良い周知方法が無いか、総合事務所と相談してみたい。

【西山会長】

それでは、意見交換会の取組や、今皆さんの意見を聞いた上で、質問や意見などがあれば発言をお願いします。

農業・林業の分野はかなり難しい部分があるが、若者女性・体験移住の方はいろいろな意見が出ているので、今回の意見を参考にしながら、牧区のPRについて意見を交わしていただければと思う。

【梨本委員】

お互いに話をすることで、広がり生まれ、道が開けたりするのだと思った。

区内の建設業者が秋にイベントを催しており、「メープルシロップなどの特産品を売りたいので持ってきてほしい」と言われたことがある。また河野委員のお店の2階でマルシェをしたいとの話があったが、そういった取組は素晴らしく、非常に大事。お互いの話から新しい動きが生まれていくので、これを大事にしていきたい。

【西山会長】

他に質問や意見等はないか。

(質問、意見等なし)

他に意見や質問等はないようなので、出された意見を事務局にまとめてもらい、次回の会議では今後の進め方について話し合いを行っていく。

以上で自主的審議事項を終了する。

その他連絡事項について、事務局から説明をお願いします。

【霜越主事】

- ・令和7年度牧区総合事務所事務分担表を配布
- ・次回の協議会：5月22日（木）に開催予定

【西山会長】

本日予定していた案件は全て終了した。清水副会長に閉会の挨拶をお願いする。

【清水副会長】

- ・挨拶後、会議の閉会を宣言

9 問合せ先

牧区総合事務所総務・地域振興グループ TEL：025-533-5141（内線147）

E-mail：maki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください